

麻生 アートと食をテーマにしたイベント「しんゆりマルシェ」が24日、川崎市麻生区の小田急線新百合ヶ丘駅の周辺で開かれ、地元の人気料理店などが出店する。企画運営などに同区や周辺にある9大学の学生が参加している。(山本哲正)

あす しんゆりマルシェ

アートと食で交流

しんゆりマルシェに参加、協力する東京都市大の皆さん。前列左端の女性は、ヤマユリをイメージしたマルシェのコンシェルジュ姿



9大学の学生企画運営に参加

新百合ヶ丘周辺地域は、高齢者や、子育てをする家族、周辺の大学に通う学生などが暮らす。イベントをきっかけに交流を図ろうと昨年、このイベントが始まった。商店などをつくる実行委員会に、同区や周辺にある九大学の学生が協力している。

開催は午前十時～午後四時。創作料理や菓子、酒などを扱う著名な店が約二十軒、出店する。またセレスモス麻生店などが地元の野菜を販売する。そのほか手作りアクセサリーの展示販売などもあり、コンサートやストリートダンスも予定している。

多摩区に生田キャンパスがある明治大は、麻生区の黒川農場でとれたホウレンソウを使ったスイーツを販売する。

創作料理など20軒出店

また、田園調布学園大(麻生区)のチアダンス部は、「学園天国」やアニメの歌に合わせて踊る。三年の三子李沙部長は「普段は学内で披露しており、たくさんのお客さまに見てもらえるのが楽しみ」と語る。麻生区の日本映画大はビデオ上映、昭和音楽大はミニコンサートを行う。

コンシェルジュ(会場案内役)を務めるのは、東京都市大(東京都世田谷区)の女子学生十人。三年の瀬川千咲子さんは「イベント内容の知識量を増やして待ってます」と来場を呼び掛ける。そのほか多摩区に生田キャンパスがある専修大などが加わる。

荒天中止。なお午後五時から世界のワイン文化を学ぶ会もある。会費二千五百円、事前申し込みで先着百二十人。学ぶ会やイベントについての問い合わせは実行委☎電044(2881)5036☎へ(二十二日まで)。

■この記事・写真等は中日新聞社東京本社の許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。